

市民病院 だより

地域と共に考える医療

問 市民病院 TEL 22-5211



外科医
加藤 浩樹

外科医のよもやま話
情報革新、技術革新による
医療技術の進歩

私が医師になった30年近く昔の外科といえば、手術手技は「見て覚えるもの」であり、執刀の機会も極めて少ないものでした。手術書の類も少なく、動画で手技を学べることはほぼ皆無でした。若手のころ、胃癌や大腸癌の手術ができるようになるまでには、とても長い道のりがあるように感じていました。しかし、今の若手医師は、外科医5、6年の経験でも執刀医として十分に質の高い手術ができるようになっており、しばしば感心させられます。もちろん彼らの努力によるところが



大きいのでしょうか、インターネットなどによる情報の普及、動画などの画像技術の進歩、手術機器進歩などによる影響も大きいように思います。特に、消化器外科手術は機器を含めた腹腔鏡手術の進歩により、ここ10年で革命的な進歩を遂げました。画像の高精細化と拡大視効果により、肉眼視よりも明瞭な画像がモニターに映し出されるようになり、臨床解剖の理解も飛躍的に進歩しました。当院では10年前に大腸切除から腹腔鏡下を開始しましたが、当時、東濃地区では胆嚢摘出術以外の腹腔鏡手術は行われていなかったと記憶しております。しかし、現在では日本全国の施設で、種々の腹部臓器に対し腹腔鏡手術が行われ、多くの術式で標準手術になってきております。現在、腹腔鏡手術の進化版ともいえるロボット手術（ダヴィンチ）も普及が進んでいます。これはロボット手術とは言っても、ロボットが自動で行う手術ではなく、遠隔操作で人間が行うものです。しかし今後、AI（人工知能）が進歩すれば、人間に代わって本当にAIが手術を行うようになるかもしれません。近い将来、外科医の仕事も大きく変わっているのかもしれない。もしかすると外科医はいらなくなるかもしれません。

時代をつむぐ 男と女 vol.159

問 暮らし人権課 佐藤
TEL 22-1128

「SDGsとは？」

みなさん、「SDGs（持続可能な開発目標）」についてご存じですか？「SDGs」とは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標のことを言います。2030年が目標の期限となっており、17のゴールと169のターゲットから構成されています。2015年の国連サミットにおいて、先進国も含め、全ての加盟国が合意しています。各国政府の取り組みだけでは目標の達成が困難であり、企業、市民社会なども含め一人ひとりの行動も求められています。

日本においても、積極的な取り組みが行われています。例えば、目標5を見ると、「ジェンダー平等を実現しよう」になっています。政府は、2016年に「女性の活躍推進のための開発戦略」を発表し、女子教育や理系分野で活躍する女性の拡大、防災分野をはじめとする女性の指導的役割への参画推進などの支援などを通じて、女性の活躍推進と質の

高い成長を目指しています。

今回は、男女平等や男女共同参画の視点から取り組みの一例を紹介しましたが、他にも達成に向けた取り組みが外務省のホームページで紹介されていますので、機会がありましたらぜひ一度見てみてください。



引用：外務省ホームページより



多治見駅前通りに建てられた名鉄多治見ショッピングセンター。立ち退いた小規模店の一部はテナントとなった。多治見通運、東海銀行(現三菱UFJ銀行)の文字がみえる。昭和40年代後半。

多治見駅前いまむかし

明治33年(1900)の中央線開業以来、多治見駅は物資の輸送拠点となりましたが、駅周辺は水はけが悪く、開発もなかなか進みませんでした。

駅前整備が本格的に進められたのは、多治見市が第20回国民体育大会の会場になることが決まってからです。昭和39年(1964)に駅舎建て替え、翌年には駅前広場が完成しました。駅前通りに建てられた名鉄ショッピングセンターの4階ボーリング場「多治見スカイレーンズ」は、若者の社交場として親しまれました。

また駅一帯は、かつて中之郷村といいましたが、明治以降の市町村合併により村名が消滅。しかし近年、「中之郷」の名を復活させようとする地域の人々により、旧「アヲ」の脇から池田へと続く下街道が「中之郷通り」と名付けられ、駅北口にも「中之郷」の名を冠したビルが登場しました。以前は「駅裏」などと呼ばれていた駅北側も、いまではすっかり綺麗になりました。

整備された駅北地区と、現在再開発の進む駅南地区、多治見駅前は市新たな顔として生まれ変わろうとしています。



昭和後期の駅北側出口。コンコースを通って駅の北側へ出ると、階段横に迎える車が並んでいた。



平成9年東鉄ビルからみた駅南口。懐かしの名鉄パレ。



1



4

3



2



6



5

12月19日(土)

セラミックバレー シンポジウム

特別ゲストとしてシンボルマークをデザインしたクリエイティブディレクターの佐藤卓さんを招き、セラミックバレー構想を改めて理解し、地域全体へのさらなる盛り上げのきっかけとするため行われました。

1 3 4 6 民間主導 温故知新を掲げる。

登壇者を含め美濃焼関係者が多く参加。

2 佐藤卓さん **5** 多治見市・瑞浪市・土岐市・可児市の4市長がオブザーバーとして参加。

12月17日(木)

「新・BS日本のうた」公開収録

バロー文化ホールで多治見市制80周年とNHK岐阜放送局開局80周年を記念し行われました。市長は「新型コロナウイルス感染症でつらいことがたくさんありましたが、楽しいひとときを過ごしましょう」と挨拶しました。

7 幸せを運んでくるというピンクのうながっぱも登場。出演者と共に盛り上がる会場。



7



12月12日(土) 消防長特別査察

8 9 10 ピアゴ多治見店で防火管理体制の徹底や啓発活動として実施しました。

10



12月5日(土) 感謝と挑戦の TYK体育館無料開放デー

11 12 バドミントンや卓球の無料開放や、各種講座が開かれました。



14



12月8日(火) シトラスリボンプロジェクト

13 14 15 笠原中学校PTA家庭教育委員会が、コロナ禍で生まれた差別や偏見のない心から暮らしやすい社会を目指す活動として市長へ報告しました。活動は生徒会と協力し行われ、さらに笠原を中心としながら、今後は多治見市全体に広がることが期待されます。

15





虎溪用水広場イルミネーション

市制80周年事業「きらめく水と光のオアシス」

点灯期間
～2月15日(月)



点灯式 令和2年12月6日(日) 16:50～

点灯式には多くの人が訪れ、点灯と共に拍手と歓声があがりました。5年目となった虎溪用水広場のイルミネーションには、過去最多約4万個のLEDが設置されています。光のアーチや医療従事者への感謝を表現した青色のドームなど、広場や水辺にあふれて輝くイルミネーションにより、虎溪用水広場はみんなが集える水と光のオアシスとなりました。



同日開催 **たわけまるけ**

令和2年12月6日(日) 12:00~18:00

同日開催されたフードや雑貨のマーケット「たわけまるけ」。来場者はタイルアクセサリーや人気作家による雑貨などを楽しんでいました。



多治見市公式YouTubeチャンネルでイルミネーションの様子を1分動画で公開しています。





スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩く！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目1番地 開庁時間 8:30~17:15
TEL 0572-22-1111 FAX 0572-24-3679
E-mail hisyokoho@city.tajimi.g.jp https://www.city.tajimi.g.jp/



多治見市
緊急メール
を活用して
ください

Apple Store



Google Play



多治見市
防災アプリ
を活用して
ください

タジミ イッピン



昨年、シェ・シバタと多治見市がコラボレーションしたクッキー缶がお披露目されました。

市制80周年を記念して、市の観光大使である柴田武さんの協力で実現したクッキー缶は、ユニークな外観で人気のモザイクタイルミュージアムのデザインを使用しています。デザインは2種類、制作個数は各3,000個で、現在発売中です。

販売場所 シェ・シバタ多治見本店、多治見市PRセンター、多治見駅観光案内所、モザイクタイルミュージアムの4カ所

問 産業観光課 TEL 22-1250



柴田武さんは、多治見の魅力をPRするため、公式Instagram「@takeshishibata」において#たけグル（市内のグルメ情報）や#多治見観光（市内の観光情報）など、さまざまな情報を発信しています。多治見市公式Instagram「tajimi_official」と一緒に、ぜひフォローしてください。

また、シェ・シバタ多治見本店のご協力により、地元応援クーポン券を掲載しています。



シェ・シバタ
ホームページ



柴田さん公式
Instagram



多治見市公式
Instagram

地元応援クーポン券 期限2021.2.28
シェ・シバタ多治見本店
2,000円以上お買い上げで
200円引き(税込)
※他サービスとの
併用不可